

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 26 年 1 月 16 日 (木) 15:30 ~ 16:30

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶 — 須藤健一 (館長) —
創設 40 周年について

2. ニュースリリース — 八杉佳穂 (広報企画会議・議長) —
●みんなの最新情報と今後 3 カ月の行事をご案内いたします。

3. 国際シンポジウム
個人・家族・国家のゆくえ
—文化人類学と人口学からの学際的アプローチ

詳しくは
こちら

今日の複雑な社会における個人と家族、国家が直面する課題を、サブサハラ・アフリカ地域の人口問題に絞り、国際人口移動や保健医療、ジェンダー、家族などのテーマから検討します。

このシンポジウムは、フランス国立パリ・デカルト大学人口開発研究所との学術提携にもとづき、学際的な国際共同研究の一環としておこなうものです。

日 時：2014 年 3 月 1 日 (土) ~ 3 月 2 日 (日)

会 場：国立民族学博物館 (第 4 セミナー室)

定 員：60 名 (一般公開 / 参加無料 / 要申込 [先着順])

— 三島禎子 (民族社会研究部・准教授) —

4. 国立民族学博物館創設 40 周年記念 / 日本文化人類学会 50 周年記念
イメージの力
—国立民族学博物館コレクションにさぐる

詳しくは
こちら

国立民族学博物館は、1974 年の創設以来、世界各地の諸民族の文化の研究を進めるとともに、世界各地の人びとが生み出した生活用具や造形を収集・展示してきました。そのコレクションは、世界の人びとが生み出したイメージの宝庫といえます。一方、国立新美術館は、コレクションを持たず、多彩な美術に関する展示・情報発信の施設として 2007 年に開館しました。その立地もあって、その情報発信力の高さは国内でも群を抜いています。

今回の展覧会「イメージの力」は、この国立新美術館と国立民族学博物館の共同の試みとして、国立民族学博物館のコレクションの中から世界各地の造形を精選し、人類の生み出したイメージの喚起する感覚や効果、すなわちイメージの享受のありかたに普遍性があるか否かを観客とともに体験的に検証してみようというものです。

会 期：2014 年 2 月 19 日 (水) ~ 6 月 9 日 (月)

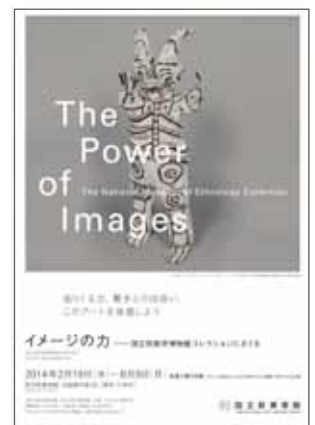
(毎週火曜日休館)

※ただし、4 月 29 日 (火) および 5 月 6 日 (火) は開館、5 月 7 日 (水) は休館

会 場：国立新美術館

主 催：国立民族学博物館、国立新美術館

共 催：日本文化人類学会



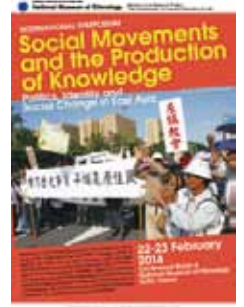
— 吉田憲司 (文化資源研究センター・教授) —
— 上羽陽子 (文化資源研究センター・准教授) —

5. 国際シンポジウム 社会運動と知の生産 —東アジアにおける政治・アイデンティティ・社会変化

詳しくは
こちら

本シンポジウムでは、韓国、台湾、日本で社会運動を研究する人類学者が集まり、東アジアの社会運動を、知識や実践、アイデンティティの生産の媒体として考察します。

日時：2014年2月22日(土)～2月23日(日)
場所：国立民族学博物館 第4セミナー室
定員：80名(研究者対象/参加無料/申込不要)
使用言語：英語(通訳なし)
主催：国立民族学博物館
後援：日本文化人類学会



—平井京之介(研究戦略センター・教授)—

6. 公開フォーラム 負の文化遺産の保存と展示をめぐる

詳しくは
こちら

ユネスコに登録されている世界遺産のうちに、アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所や広島原爆ドームなど、負の遺産がかなりの数存在します。これらの保存をめぐることは、反対運動が生じることもしばしばあり、多くの議論を呼んできました。今回の研究会では、広島原爆ドームの保存に関わる歴史的経緯と、地域社会のなかに葛藤を生み出している東日本大震災の遺構を取り上げて検討します。

日時：2014年1月18日(土) 13:00～19:00
場所：千里朝日阪急ビル第1会議室
定員：45名(一般公開/参加無料/申込不要【先着順】)
主催：国立民族学博物館
共催：総合研究大学院大学学融合プロジェクト

—竹沢尚一郎(民族文化研究部・教授)—

7. 人間文化研究機構第23回公開講演会・シンポジウム 高齢期のウェルビーイングと多様な住まい方

詳しくは
こちら

少子高齢化が進行する現代社会では、高齢期のウェルビーイングと社会福祉、そして人々の支え合いや交流の用途が注目を集めています。この公開講演会・シンポジウムでは、高齢期のウェルビーイングに配慮した多様な住空間構想が、すべての人にとって住み心地のよい、地域文化を活かしたコミュニティを育ててゆく可能性と道筋について考えます。

日時：2014年3月8日(土) 13:00～17:20
場所：イイノホール(東京)
定員：500名(一般公開/参加無料/要事前申込【先着順】)
主催：人間文化研究機構
後援：文部科学省、日本文化人類学会



—鈴木七美(先端人類科学研究部・教授)—

8. 研究こぼれ話 現代中国の高齢者介護

1月は社会人類学、漢族研究が専門分野の河合洋尚がお話しします。

—河合洋尚(研究戦略センター・助教)—